

2022年1月1日発行

第62号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)

一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

新年のご挨拶



理事長 佐藤 均

あけまして
おめでとうございます。

公衆衛生推進委員の皆さまをはじめ、
健康と環境の課題に取り組んでいた大い
な活動を通じて、県民の健康づくりと
住みよい環境づくりにご尽力いただき、
誠にありがとうございます。

昨年も、新型コロナウイルスにほんろ
うされた一年となりました。予定していた事業やイベントの多くが
中止もしくは延期となり、計画どおりの
事業運営ができませんでしたが、1日も
早く元の日常生活を取り戻すため、国や県が
主導する新型コロナウイルスワクチン接
種への協力や、社会貢献事業としてのP
CR検査などに積極的に取り組んでまい
りました。

このような状況下において、昨年11月
に安芸高田市の神楽門前湯治村で、感染
症対策を徹底して広島県公衆衛生大会を開催しました。大会宣言の中に「日常的
な感染症予防活動」に加えて「フレイル
予防を目的とした実践活動による健康づ
くりの推進」と「プラスチックごみや不
法投棄ごみの撲滅による生活空間の美観
の確保と快適な環境づくりの推進」を掲
げ、今後とも、公衆衛生推進委員の皆さ
まには、平素から地域に根付

まともに、健康で快適な環境づくりを
目指すこととしております。また、当協
会が運営する脱温暖化センターひろしま
を中心に関係団体と連携しながら、政府
が目指しているカーボンニュートラルの
実現に向け積極的に取り組み、持続可能
な社会の発展に貢献することとしており
ます。

さて、新たな年を迎えるにあたり、新型コロナウ
イルス感染が収束することを願いつつ、
アフター「コロナを見据え、第1次経営ビ
ジョンの最終年度として計画の着実な実
行と2023年度からスタートする、夢
のある協会像を描いた第2次経営ビジョ
ン、そしてそれを実現するための経営計
画を策定したいと考えております。
最後になりましたが、協会運営に引き
続きご支援ご協力をお願いいたします
とともに、皆さまのご発展をご健康をお
祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

シンでは、安芸高田市
立美土里中学校神楽同好
会による子ども神楽「鈴
鹿山」を上演しました。
地元神楽団の指導を受け、
きらびやかな衣装を

身にまとい、見事な神楽
でした。

新年のご挨拶



第62回広島県公衆衛生大会
生大会、健やかな暮らし
をつくる人々の集い
が、11月11日に安芸高
田市の神楽門前湯治村
で開催され、県内各地か
ら公衆衛生推進委員や
事務担当者など、約38
0人が参集しました。

この大会は、公衆衛生
の向上に日々努力する個
人や団体を称え、知識
や体験を交流しあい、真
に健康な県民生活の実現
に寄与することをねらい
に開催し、式典や講演な
どを行っています。

式典では、県知事、県医師会長及び環保協

理事長から公衆衛生活
動において多大な成果
をあげた43個人・8団
体の功績を称え、表彰
状が授与されました。

次に、地区衛生組織
代表者会議の今津俊昭
議長が大会宣言文を読み

上げ、感染症予防対策や災害時における公衆衛生活動、フレイル予防等の健康づくり

等の健康づくり、地球温暖化や海ごみなどの環境

問題に取り組むことの重要性を宣言し、会場の大
きな拍手によって採択されました。大会宣言に

7つの活動指針採択 フレイル・海ごみ対策など

大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、行政や他団体と協働しつつ、
自主的・組織的なコミュニティ活動をとおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてまいり
ました。

近年、気候変動による甚大な自然災害が発生する状況に加え、新型コロナウイルス感
染症という災禍により、私たちの活動は大きく変わりつつあります。また、高齢者が増え
ている現代社会において、加齢により心身が老い衰えた状態を起こさないようにするフレ
イル予防が大切だと言われています。

今後も、人々がより快適で健やかに暮らせる活力あるコミュニティの実現をめざし、感
染症予防対策や災害時における公衆衛生活動、フレイル予防等の健康づくり、および地
球温暖化や海ごみ等の環境問題に取り組むことが求められています。

そこで、「健やかな暮らしをつくる人々の集い」をテーマに開催するこの大会を契機に、
次の7つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関
係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けてまい進することを宣言します。

- 日常的な感染症の予防活動(手洗い、うがい、マスク着用)の推進
- 防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進
- フレイル予防を目的とした実践活動による健康づくりの推進
- プラスチックごみや不法投棄ごみの撲滅による生活空間の美観の確保と
快適な環境づくりの推進
- 住民・行政・事業者の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 世代を超えた健康学習・環境学習の推進
- 上記の6つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

令和3年11月11日 第62回広島県公衆衛生大会



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本
理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

かんほきょう

検索

